

全員協議会

平成28年12月22日に議会全員協議会を開催し、市長から次の2件の報告を受け、質疑を行いました。

○不適切な事務処理および関係職員の処分について

平成27年9月定例会における一般質問において、有効期限切れワクチンを使用した予防接種および白紙請求書を使用した事務処理が行われていたことが判明したこと、さらに、怠慢な事務処理やさまざまな公金管理が原因で、生活保護費が盗難に遭う事件が発生したことから、事実関係の調査、原因究明および再発防止に向けて取り組むことを目的として設置した「不適切な事務処理に関する調査委員会」で、内部調査を行ってきた。

その後、第三者による「検証専門員」を設置し、市が行った内部調査を検証した上で、追加調査の助言と支援ならびに再発防止に向けた意見が出された。

これらの検証結果を踏まえ、不適切な事務処理の実態が明らかになったことから、このたび関係職員に対して、懲戒処分等を行った。

今後、このような事故が起らないよう再発防止に努め、市民の皆さまの信用と信頼の回復に、職員一丸となつて取り組んでいきたい。

また、市政運営の総括責任者として、今回の件を重く受け止め、今定例会に、市長、所管の副市長および教育長の給与減額条例を提出する。

○職員の処分について
実際に要する費用よりも多くの通勤手当を受給していた

職員等および勤務時間中に公用車を私的利用した職員について、減給や訓告の懲戒処分等を行った。

◆条例案の内容および議決結果

市長は、給料および地域手当の10分の1を3カ月間、所管の副市長および教育長は、給料および地域手当の10分の1を1カ月間減額しようとするものです。

12月27日開催の本会議において、総員の賛成により原案を可決しました。

陳情の議決結果

今定例会では24件の陳情が提出されました。陳情6件を採択したほか、1件を不採択、14件を継続審査とし、3件を全議員に配付しました。

【採択した陳情】

◆鎌倉市図書館が目指すべき将来像の確立についての陳情

陳情の要旨および審議結果
今後の図書館運営のよりどころとなるような、本市図書館の目指すべき将来像の確立を求めるものです。

委員会では総員、本会議では多数の賛成により採択しました。

◆各常任委員会開催前に傍聴資料を配架することについての陳情

陳情の要旨および審議結果
市議会各常任委員会の審議事項に係る資料について、市民等があらかじめ内容を把握できるように、委員会開催前に行政資料コーナーに配架することを求めるものです。

委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◆「第一中学校通学路（兼津波避難通路）の崖崩落防止

工事」についての陳情
陳情の要旨および審議結果
第一中学校通学路の崖崩落防止工事の早期着工を求めるものです。

委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。



通学路の状況

◆崖地崩落防止措置についての陳情

陳情の要旨および審議結果
小坪トンネル周辺の崩落事故に関連し、周辺の山林について再発防止措置を講じることを求めるものです。

委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◆産後ケア事業に対する補助金についての陳情

陳情の要旨および審議結果
産後ケア事業に、無料クーポン券等の補助制度を導入すること、出産後4カ月未満の子育て中の全ての女性を対象とすることを求めるものです。

委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◆市役所主導で「自主まち」活性化の為に連絡会議を設置することに関する陳情

陳情の要旨および審議結果
まちづくり市民団体活性化のため、市役所主導で知恵の伝授と助言の場をつくるよう切望するものです。

委員会、本会議ともに多数の賛成により採択しました。

◆旧鎌倉図書館の活用方法に関する陳情

12月20日、21日開催
審査した内容（議案12件、陳情14件、報告事項等8件）

報告事項 防災対策の取組状況について

防災対策の取組状況については、担当課から逐次状況報告を受けていますが、平成28年9月定例会以降、特に重点的に取り組みを進めている事案について報告を受けました。

災害情報の収集・提供の充実については、気象情報等の自動配信機能に市のTwitter、Facebookへの連携機能を追加することが可能となり、平成29年1月から運用を開始するとのことです。

避難行動要支援者対策については、自治・町内会等へ提供する避難行動要支援者名簿の作成が完了し、11月下旬から本格的に提供を開始しているとのことです。

関係団体等との災害協定締結については、平成28年6月定例会で陳情が採択されたことを受け、11月1日に災害時における段ボールベッド等の供給協定を取扱業者で構成される「東日本段ボール工業組合」と締結し、災害時には段ボール製簡易ベッド、段ボール製シート、段ボール製間仕切り等の供給ルートが確保されることになったとのことです。

また、津波対策として、由比ガ浜のNTT鎌倉ビルを32箇所目の津波避難施設として指定を行ったこと、そのほかに、各種訓練等の実施結果と今後の予定について、および崖地対策の推進について関係課との課題の共有と対応策の検討を開始したとのことです。

委員会では総員により了承されました。

12月16日開催
審査した内容（議案4件、陳情1件、報告事項等5件）

陳情第44号 産後ケア事業に対する補助金についての陳情

本陳情は、本市の産後ケア事業に、無料クーポン券等の補助制度を導入すること、また、制度については、出産後4カ月未満の子育て中の全ての女性を対象とすることを求めるものです。

他自治体の状況としては、国が平成27年度から進めている「地域子ども・子育て事業」の一つである産後ケア事業については、事業を開始する自治体が増えてきており、県内では横浜市、川崎市、横須賀市で、対象者に対する支援を実施しているとのことです。

また本市の状況としては、現在、市内の二つの産科医療機関で産後ケアが実施されているものの、利用料の全額が自己負担となっており、少子化や核家族化による育児力の低下など、支援が必要な女性が年々増加傾向にあることから、先行事例等を踏まえ、平成29年度から始まる市の第3期基本計画後期実施計画の中で実現できるよう検討していきたいとのことです。

委員会では、「質疑を通じ、今後、行政計画において産後ケアに対する支援充実を図っていくという市の方向性が確認できた」「実施に当たり、まずは対象となる子育て中の女性のニーズをしっかりと把握した上で進める必要があり、実施中のサービスの充実を含め、手厚い支援を行っていくべき」との意見が出され、総員により採択されました。

観光厚生常任委員会

建設常任委員会

常任委員会

審査の一部を紹介します

総務常任委員会

教育こどもみらい常任委員会

12月19日開催
審査した内容（議案4件、陳情4件、報告事項11件）

報告事項 北鎌倉隧道の安全対策について

北鎌倉隧道の安全対策などについて、次のとおり報告を受けました。

平成28年7月に開催された文化財専門委員会の意見を受け止め、土木と文化財の専門家から構成する検討委員会が発足され、尾根の文化財的価値とトンネルの通行の安全が両立できる方策（工法）の検討を開始し、11月に開催された第1回検討委員会では、仮設隧道の整備について、隧道は削らずにライナープレートを既存隧道内および隧道の鎌倉側に設置し、両坑口を土のうで補強する案が了承され、この案を文化庁に報告し了解が得られたとのことです。今後は、検討委員会で保全方針を踏まえた安全対策の方策（工法）を今年度末までに検討の上、まとめる予定であるとのことです。

なお、隧道は地元住民の生活道路や通学路などに利用されていますが、隧道の通行禁止後、大船高校の生徒の朝の通学のために開設しているJR北鎌倉駅下り線大船側の臨時改札口を、一般にも利用できるよう、JRと協議を重ね、北鎌倉隧道の安全対策工事が完了するまでの間、仮改札口として開設する協定を締結するための補正予算を12月定例会に提案したとのことです。

委員会では総員により了承されました。

12月15日開催
審査した内容（議案5件、議会議案1件、陳情1件、報告事項11件）

報告事項 鎌倉市中学校給食基本方針の策定について

平成29年11月から開始する中学校給食を着実に実施するため、教育委員会が策定した「鎌倉市立中学校給食基本方針」（以下、基本方針）について、報告を受けました。

基本方針では、地産地消、季節の行事や郷土料理などを取り入れ、市の栄養士が献立を作成すること、民間の調理施設で調理した給食をランチボックスに盛り付けて各中学校へ配送するデリバリー方式で実施すること、食物アレルギー対応については、ランチボックスを通常献立のものとは異なる色のものを使用するなど、誤配・誤食の事故が起こることのない安全性を最優先にした運用に努めていくことなどが定められているとのことです。

委員会では総員により了承されました。

中学校給食サンプル献立

米飯を中心とした主食とおかず3～4品
毎日みそ汁やスープなどの汁物が付きます。
汁物とご飯の容器は、専用の保温コンテナで配送され、温かい状態で配膳されます。

